

平成27年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

岩手県

行事名称	平成27年度「文化財防火デー」に伴う文化財防火運動
実施期間・日時	平成28年1月26日（火）9：00～11：00
実施場所	陸前高田市指定有形文化財常膳寺観音堂（岩手県陸前高田市小友町）
主催者	陸前高田市教育委員会、陸前高田市消防本部

■実施内容

訓練の想定

観音堂下部の山林からの山火事により出火。県指定有形文化財木造十一面観音菩薩立像や市指定有形文化財常膳寺観音堂等に延焼する恐れがあると想定。

訓練の内容

住職、周辺住民等による火災発見、119番通報、消火器による初期消火、重要物品（模擬）の搬出、参拝者避難誘導訓練の実施。上記の訓練が終了した後、消防署による放水訓練が行われた。また、放水訓練後には消防署指導の下、消火器を用いた初期消火訓練を行った。

参加者及び役割分担

住職及び周辺住民 21名：119番通報、参拝者等の避難誘導、重要物品搬出、初期消火
陸前高田市消防署 5名：全体統括、放水訓練、初期消火訓練指導、講評
陸前高田市教育委員会 6名：現場立会、模擬避難

特に工夫した点

常膳寺に対し地域住民（寺社総代等）への呼び掛け等を依頼。なお、当寺社は普段住職が在住しておらず、防災防犯対策を講じることが困難である。そのため、防災防犯における課題の抽出も重要な目的とし、防火訓練を実施した。

問題点・課題

近隣住民が常に近くにいれば、今回の様な対策が即時に取れるが、住職が在住していない場合、火災等をいち早く発見するためには、遠隔操作できる火災報知機や防犯カメラの設置を検討する必要がある。
寺社周辺は駐車スペースに限りがあるため、近くの空き地を整備し、それらを確保する必要がある。
寺社周辺の道幅も狭く、消防車の出入りも容易には出来ないため、出入り口の道路の拡幅を検討する必要がある。
今回は、消火栓が無いところでの消火訓練となったが、近くに農業用溜池があるため、緊急時はその水を用いて消火活動を行うことが可能。

その他

文化財防火デーに合わせて、地域住民とともに消防訓練を行い、文化財を身近に感じるとともに、それらの防災意識の高揚や文化財愛護精神を養うことが重要である。今後も市内全域の寺社等の文化財所在地で、地域に根差した防火活動を実施する予定である。

訓練風景

